

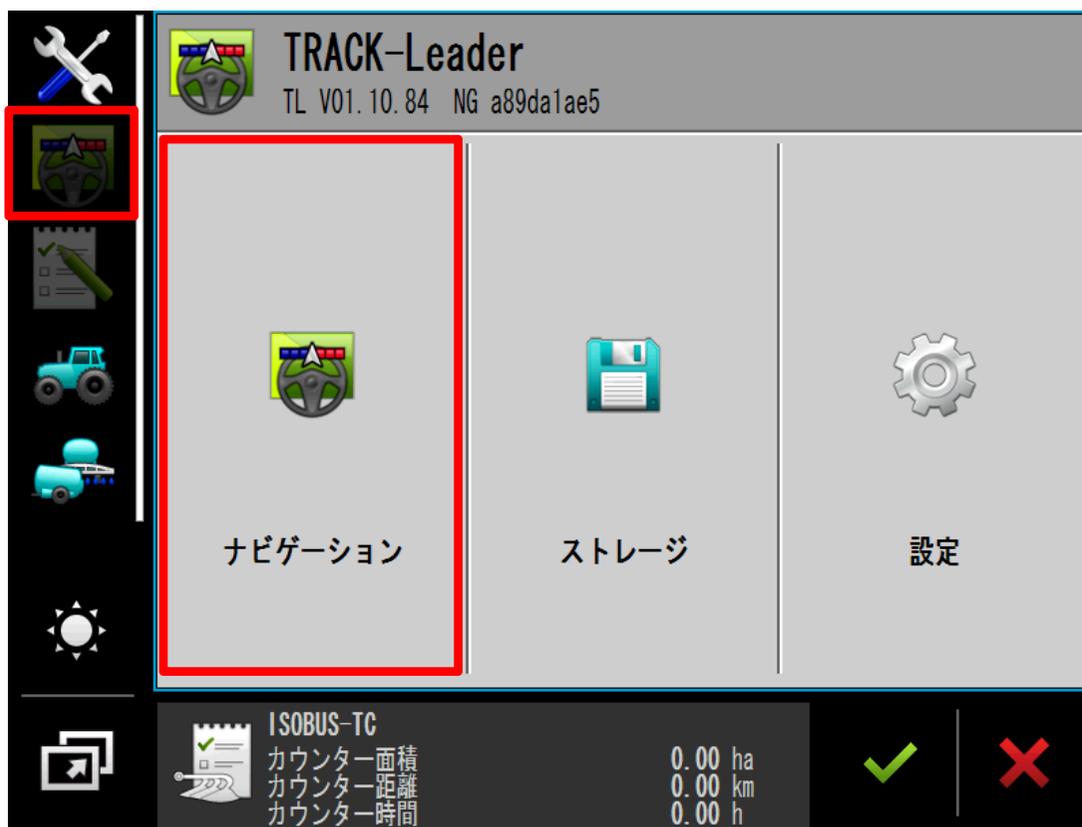


# Track-Guide III

## 5. 実行画面

# Track-Guide III

## 5. 実行画面



※その他の設定が完了した状態で行ってください。

 をタップする

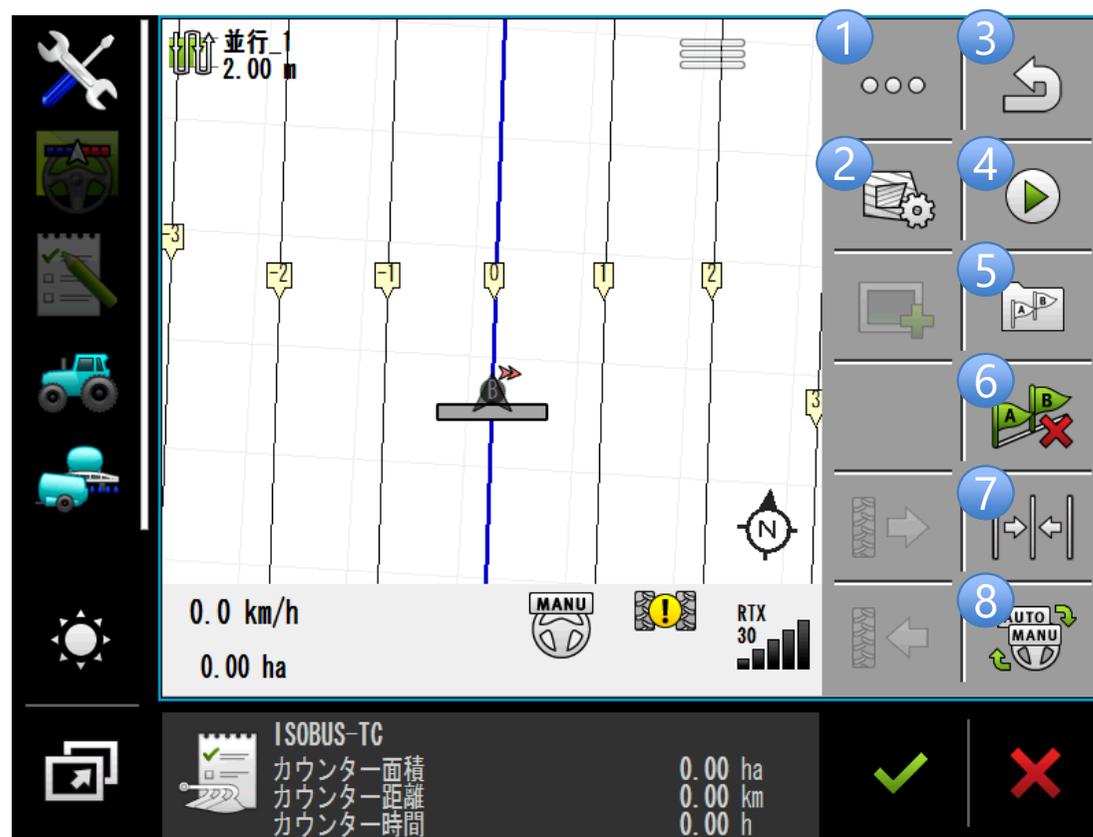
「ナビゲーション」をタップする



安全を確認してください。

「OK」をタップする

- 機能アイコンの概要(1ページ目)



① 次のページへ

② 境界設定

③ 実行画面を終了する

④ 作業記録の開始/停止

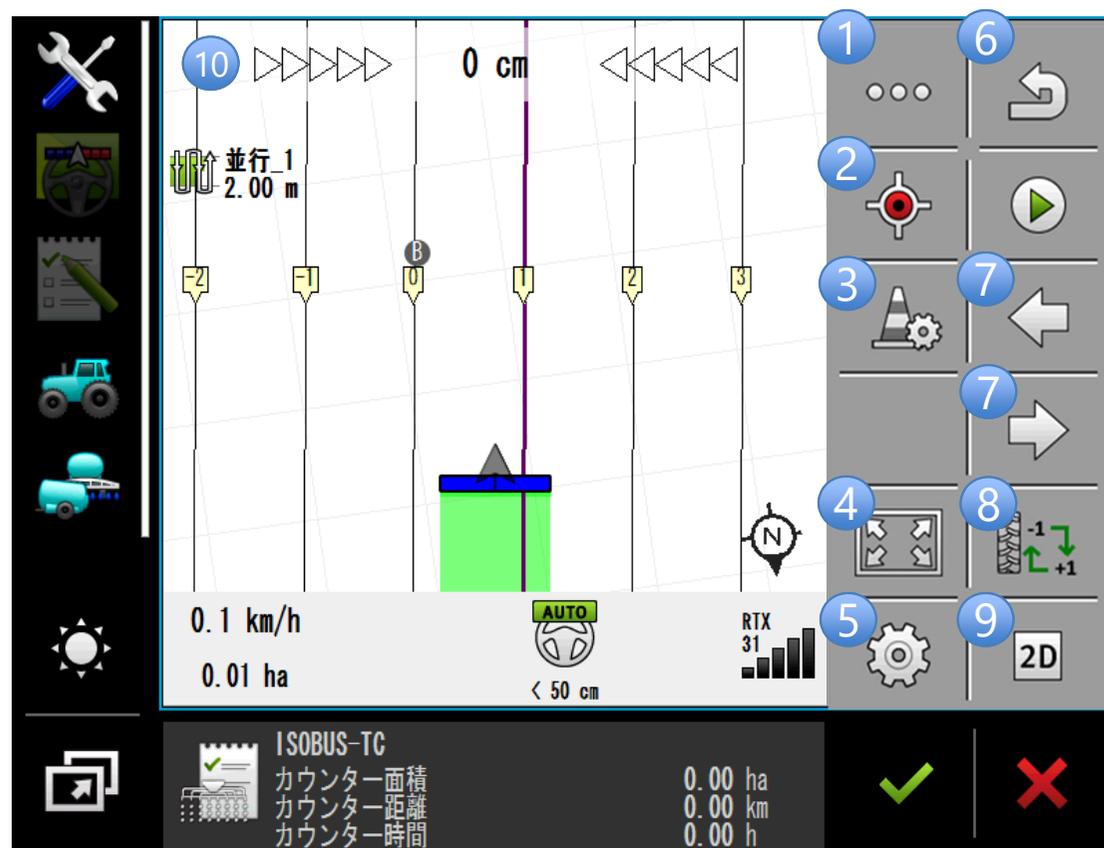
⑤ AB線選択・AB線設定画面

⑥ AB線を作成  
AB線削除 (ボタン3秒長押し)

⑦ ガイダンスラインを現在の位置に移動  
(ボタンを3秒長押し)

⑧ 自動操舵のオン/オフ

- 機能アイコンの概要(2ページ目)



①1ページ目に戻る

②参照ポイントを作成する  
(RTK または Centerpoint RTX 信号を使用する場合は必要ありません)

③障害物にマークを付ける

④実行画面の表示を変更  
(フィールド全体が表示されます)

⑤ナビゲーション設定

⑥実行画面を終了する

⑦トラクタを一時的に誘導線の左右に移動する

⑧AB ラインを反転する

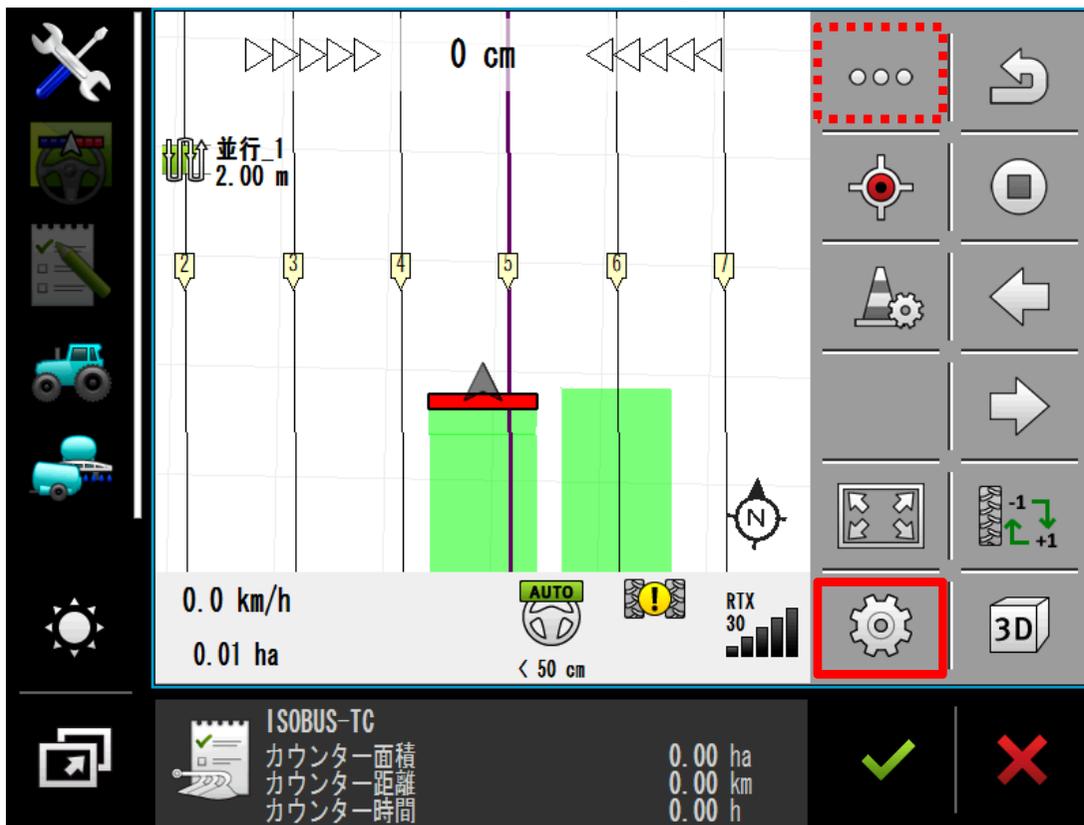
⑨2D/3Dの表示モードを変更する

⑩トラッキングエラーの表示 (画面を2回タップする)

# Track-Guide III

## 5. 実行画面

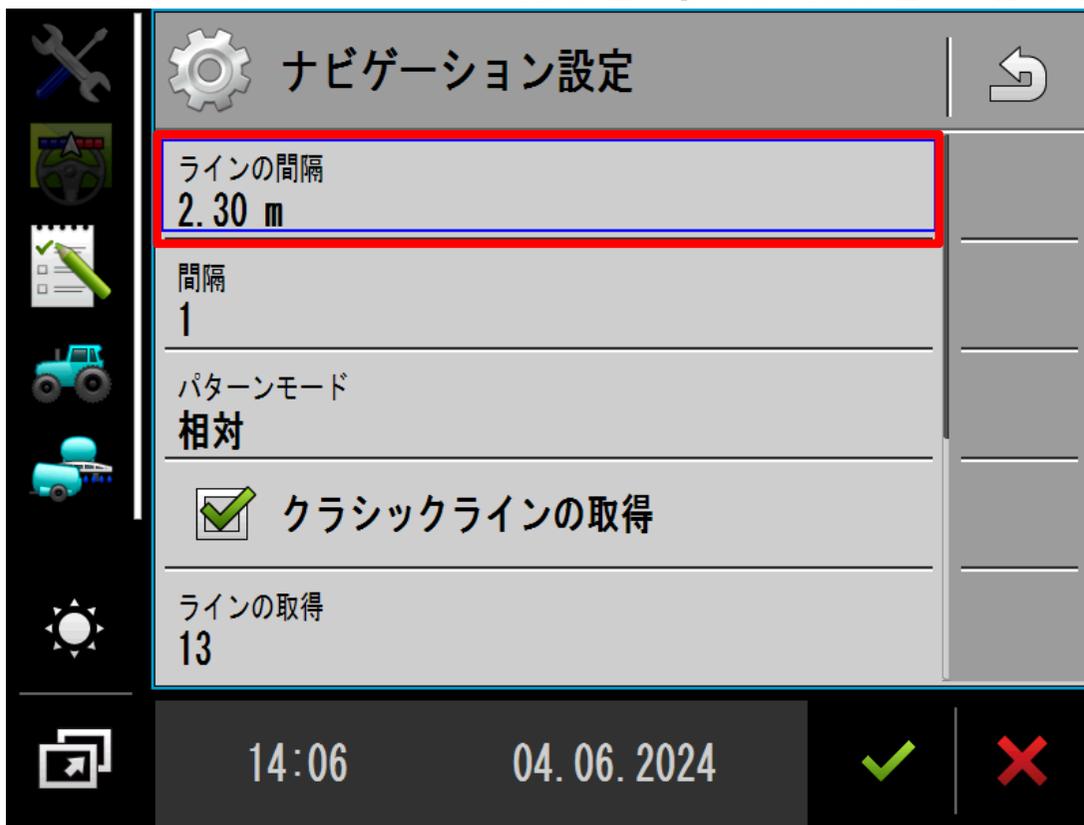
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



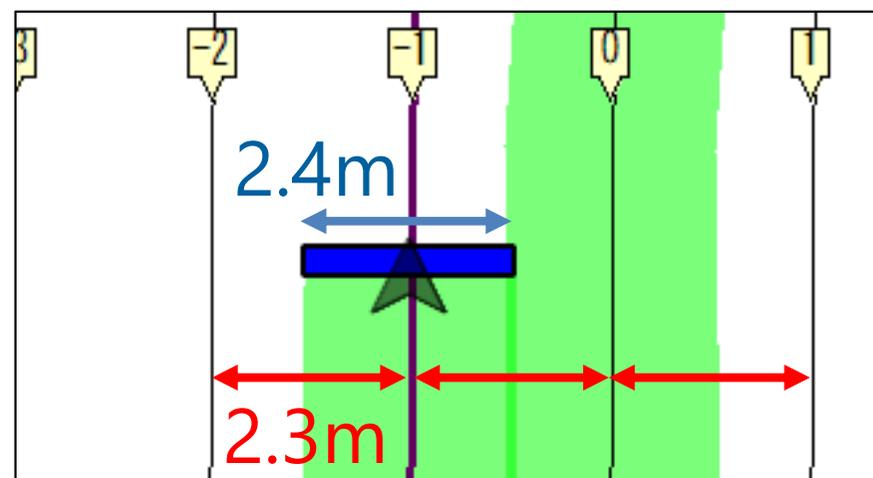
 をタップする

※  が表示されていない場合は、 をタップして画面を切り替えてください。

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



ラインの間隔をタップし、  
畝幅を入力する

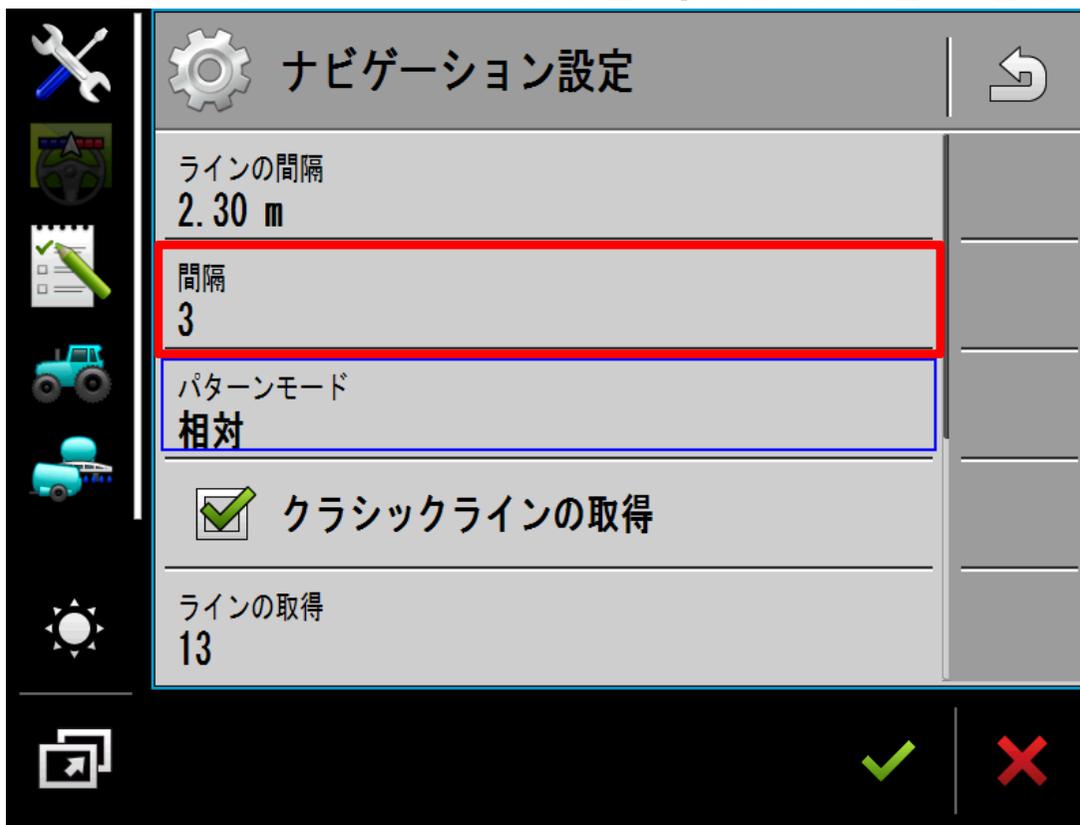


例) ラインの間隔を2.3m、作業機の幅2.4mに設定した場合。左右に5cmの重なりができます

※設定値がガイダンスラインの幅になります  
作業機設定で設定した「作業幅」より小さい値にすると、左右に重なりができます

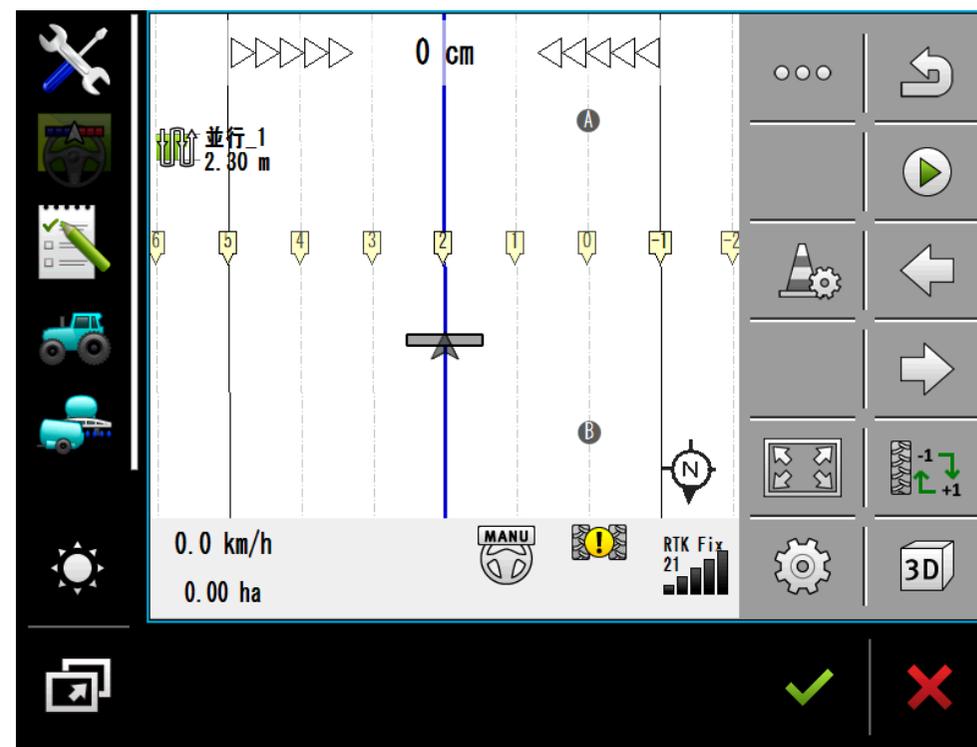
## 5. 実行画面

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



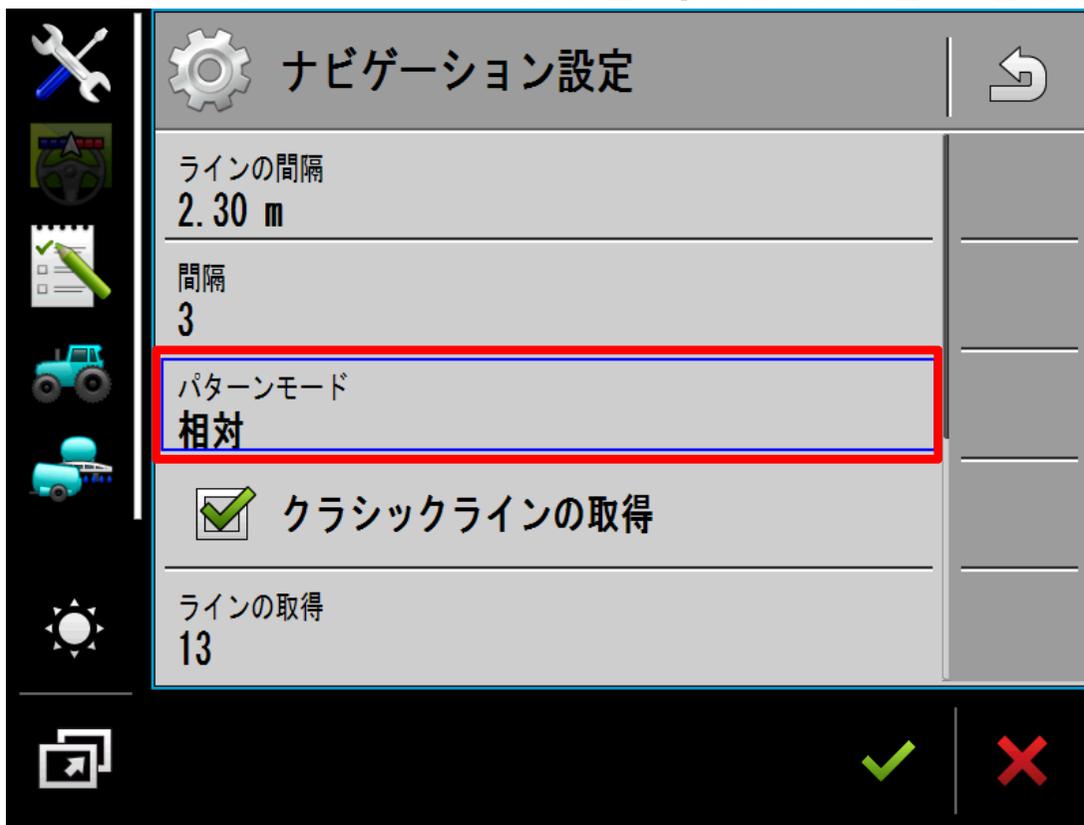
実線ラインの「間隔」を変更できます

※点線ラインも自動操舵可能です

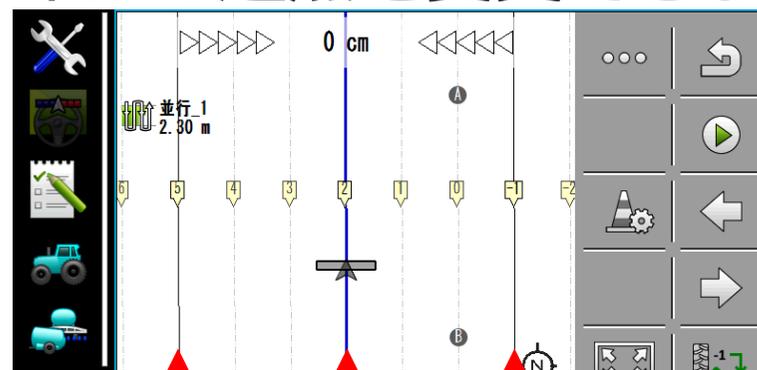


例) 「間隔」を「3」にした場合

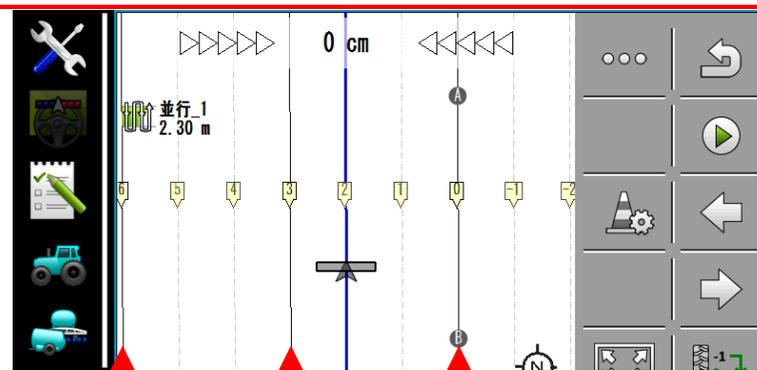
- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



「パターンモード」で、トラムラインの起点を変更できます

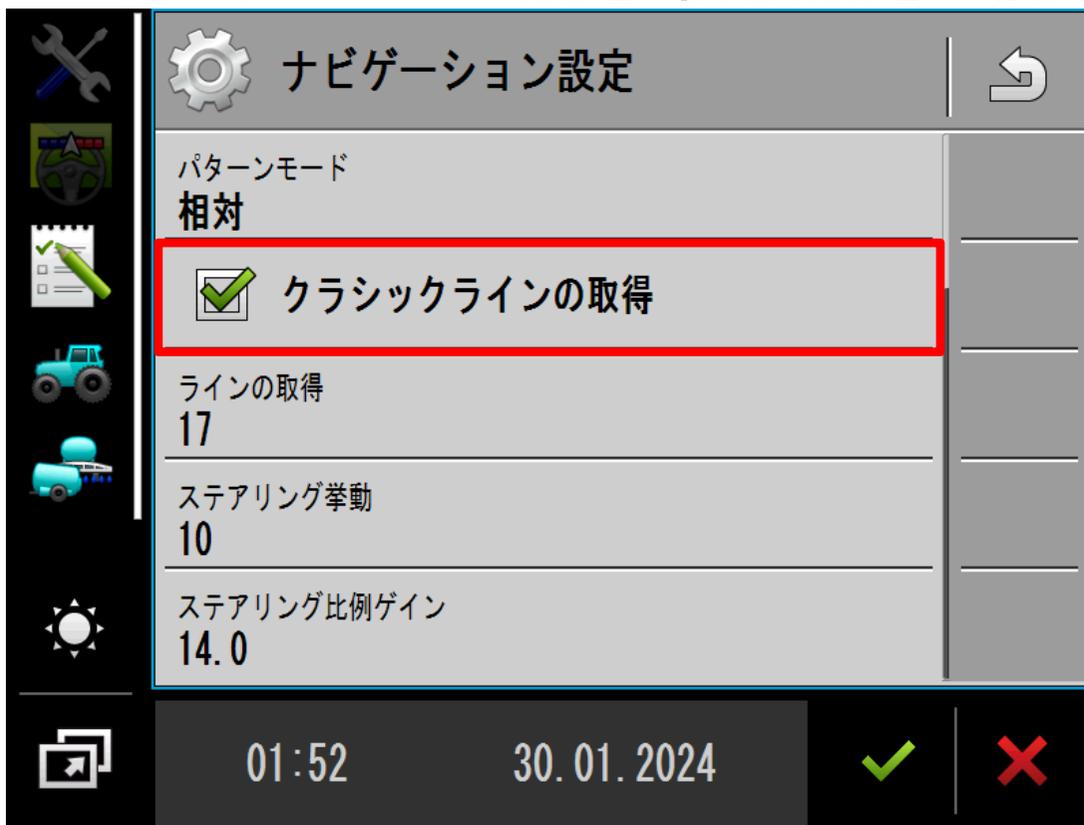


相対：自分の位置を基準に、実線ラインが表示される



絶対：初めに作成したAB線の位置を基準に、実線ラインが表示される

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）

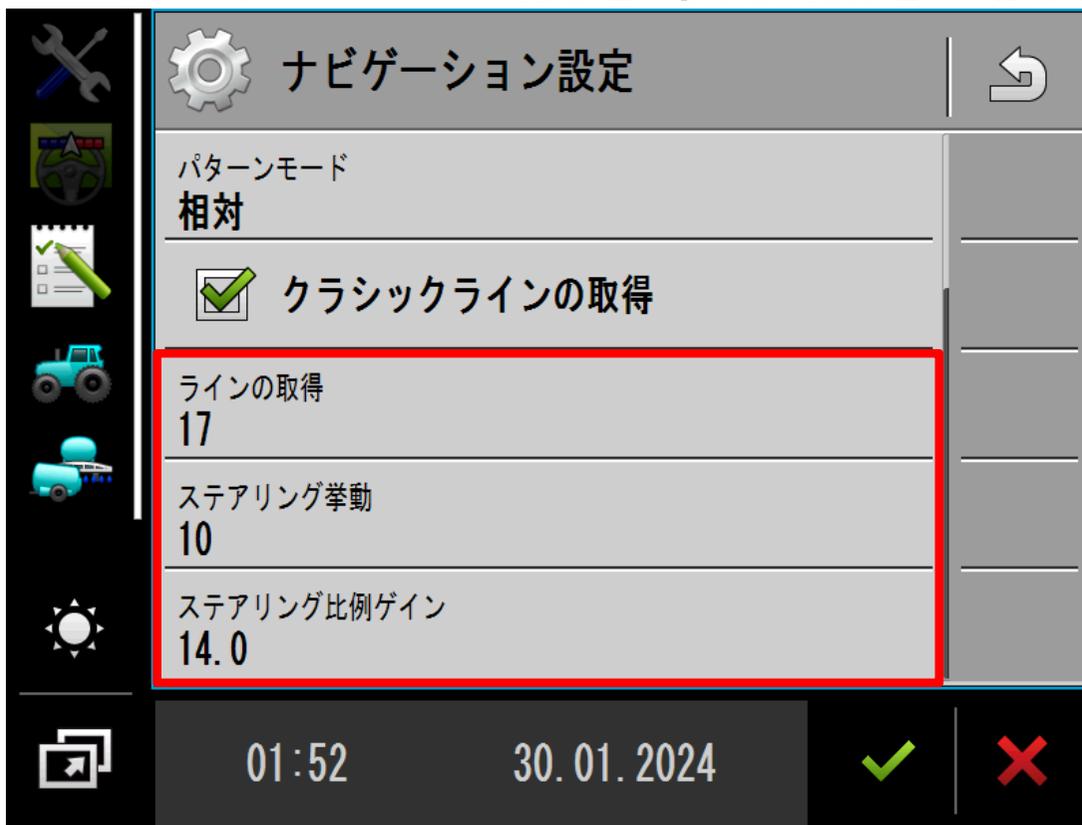


「クラシックラインの取得」を有効にします。

（チェックマークをつける）

※クラシック/OnSwathの切り替えが可能です

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



自動操舵の感度調整に関わる各種パラメーターを変更することができます

## 5. 実行画面

- ナビゲーション設定（畝幅設定・感度調整など）



 をタップし設定を保存する

「はい」をタップする

